

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 2 区分
【発行日】平成23年2月3日 (2011.2.3)

【公開番号】特開2009-176986(P2009-176986A)
【公開日】平成21年8月6日 (2009.8.6)
【年通号数】公開・登録公報2009-031
【出願番号】特願2008-14573(P2008-14573)
【国際特許分類】

H 0 1 L 27/04 (2006.01)

H 0 1 L 21/822 (2006.01)

H 0 1 L 23/12 (2006.01)

【F I】

H 0 1 L 27/04 L

H 0 1 L 23/12 B

【手続補正書】

【提出日】平成22年12月14日 (2010.12.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の巻線により螺旋状に形成されている、平衡型の信号を入出力するためのコイルであって、

各巻線の幅が、当該巻線の位置が前記複数の巻線のうちの中央にある巻線の位置から遠いほど、より小さいことを特徴とするコイル。

【請求項 2】

基板上に形成されている回路の上方にパシベーション層を隔てて形成されている複数の絶縁層に亘って複数の巻線により螺旋状に形成されている、平衡型の信号を入出力するためのコイルであって、

各巻線の幅が、当該巻線の位置が前記複数の巻線のうちの中央にある巻線の位置から遠いほど、より小さいことを特徴とするコイル。

【請求項 3】

基板上に形成されている回路の上方にパシベーション層及び絶縁層を隔てて形成されている複数の絶縁層に亘って複数の巻線により螺旋状に形成されている、平衡型の信号を入出力するためのコイルであって、

各巻線の幅が、当該巻線の位置が前記複数の巻線のうちの中央にある巻線の位置から遠いほど、より小さいことを特徴とするコイル。

【請求項 4】

複数の巻線により螺旋状に形成されている、不平衡型の信号を入出力するためのコイルであって、

各巻線の幅が、当該巻線の位置が前記複数の巻線のうちの接地電位に接続されている巻線の位置から遠いほど、より小さいことを特徴とするコイル。

【請求項 5】

基板上に形成されている回路の上方にパシベーション層を隔てて形成されている複数の絶縁層に亘って複数の巻線により螺旋状に形成されている、不平衡型の信号を入出力するためのコイルであって、

各巻線の幅が、当該巻線の位置が前記複数の巻線のうちの接地電位に接続されている巻線の位置から遠いほど、より小さいことを特徴とするコイル。

【請求項 6】

基板上に形成されている回路の上方にパシベーション層及び絶縁層を隔てて形成されている複数の絶縁層に亘って複数の巻線により螺旋状に形成されている、不平衡型の信号を入出力するためのコイルであって、

各巻線の幅が、当該巻線の位置が前記複数の巻線のうちの接地電位に接続されている巻線の位置から遠いほど、より小さいことを特徴とするコイル。

【請求項 7】

請求項 1 乃至 6 のいずれか一項に記載のコイルを含むことを特徴とする半導体装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】コイル及び半導体装置